

2月の管理

JA山口大島
指導販売部

柑橘

作業1 表層根づくり

○有機物等の投入

樹体の健全化をはかるため、樹冠下に堆肥、コアラピート（ヤシガラ）、ピートモス等の施用又は客土を行い細根の増加をはかりましょう。

○石灰資材の投入

肥料の投入・降雨等で徐々に苦土、石灰分が流亡して酸性化が進みます。苦土石灰、サンライム、マリンカル等を施用して、苦土、石灰の補給と酸性土壌の改善をおこないましょう。（石灰資材は毎年施すことが大切です。）

作業2 密植園の間伐

密植の弊害として、隔年結果の助長、品質の低下、着色遅れ等がおきます。また作業性・防除効率が低下し、農薬散布時には作業者への農薬飛散も多くなります。樹と樹の枝先が重なりあう園では間伐をおこなって、独立樹にしましょう。

作業3 春草の除草

地温の上昇にともない春草の生育が活発になります。草と樹の養分競合を防ぐため早めに春草の除草をおこないましょう。

使用薬剤	倍率・散布量
ラウンドアップマックスロード	250倍 ・ 100% ¹ / _{10a}
バスタ液剤	250倍 ・ 100% ¹ / _{10a}
プリグロックスL	150倍 ・ 100% ¹ / _{10a}

作業4 改植の準備

改植を予定している園では、植付前に作業効率・排水性の良い園に整備しましょう。植栽位置を決めた後、植穴を掘った土に堆肥20kg、ヨウリン300g、サンライム2kgを施用して、よく混和して植穴を埋め戻しておきましょう。

※堆肥等の基準量は深さ50cm、直径60cm程度の植穴を基準としています。植穴の大きさで施用量を調整してください。

作業5 貯蔵管理

予措・貯蔵条件の目安

品種	予措 (減量歩合%)	貯蔵		注意点
		温度(℃)	湿度(%)	
いよかん	4~5	4~5	90	4~5日に1回換気
デコポン	2~3	6~8	90	過乾燥、急激な温度変化に注意
清見	しない	5~8	90	急激な温度変化、それによる結露注意
せとみ	2~3	5~6	85~90	予措の徹底、貯蔵中の湿度保持

換気は庫内温度と気温が同じころに実施する

作業6 樹勢回復対策

樹勢が低下している場合、気温10℃以上の暖かい日を選んで、液肥を散布しましょう。

尿素 500倍
10日間隔で2~3回散布する

作業7 園周辺の雑木の整理

園周辺の雑木の整理（陰切り）を実施して園の日照条件を改善しましょう。

落葉果樹

春肥の施用

品種	肥料銘柄	施用時期	施用量(10a当り)
キウイフルーツ	柑橘有機配合1号 (8・6・4)	2月上旬~2月下旬	4袋
梅		2月下旬~3月上旬	2袋
西条柿		3月上旬	2袋

野菜

バレイショの定植準備

3月中旬以降定植が始まりますので準備をしましょう。

時期：定植1~2週間前
肥料：有機入化成A801号
施用量：1㎡当り150g
* 十分に深耕しましょう。

種芋の準備

種芋は2~4つ切にし、30~40g程度にしましょう。

タマネギの追肥

時期：2月中旬~2月下旬
肥料：燐硝安加里S604
施用量：1㎡当り10g
* 2月下旬から急速に成長するため土寄せをおこない倒伏防止を行いましょう

ソラマメの芽かき

成長するにしたがって、株元から何本もの芽が伸びてくるので、徒長した枝や幼少の枝を分岐点より切り取り、太くて良い芽を4~5本残しましょう。

水稻

土作り

年末、年始におこなっていない人は今からでもケイカル又はミネラルGFを10a当り150~200kg施用し、耕運しましょう。